

## 放置された廃車両の撤去は

木村理事 関係者・関係機関と協議して対応

新政会  
奥田 俊則



▲放置された車両（古宮漁港）

**問** 漁港施設の継続占有許可地域内に放置された廃車両が、数年来存在している。撤去処理の基準とその対策は。

**答** この土地は、国有海浜地であり、古宮漁港の漁港区域内にある漁港施設用地である。また、漁港管理者である町が加工場用地として地元漁業協同組合に占用の許可をしている施設用地でもある。放置された車両の除去については、関係者・関係機関と協議して対応していきたい。

**問** 所有権のある車の撤去に向けて、具体的な対策は。

**答** 不法駐車の手紙を、その後、公告する。

**問** 不法駐車の手紙を、その後、公告する。

**問** 以前より指摘している通学路の安全対応は。

**答** 学校から提出された危険箇所に入っていない。

**問** 所有権のある車の撤去に向けて、具体的な対策は。

**答** 不法駐車の手紙を、その後、公告する。

**問** 不法駐車の手紙を、その後、公告する。

**問** 以前より指摘している通学路の安全対応は。

**答** 学校から提出された危険箇所に入っていない。

## 治療材料等給付券導入を

町長 実施に向けて前向きに検討

青雲21  
宮宅 良



在宅重度障害者対策事業給付券		年月分			
受給者証番号・番号	在重	受給者氏名	給付品目(○でかこむ)		
区分					
(1) 在宅障害者	1.両面ハンソーパー	2.消毒液	3.脱脂綿	4.油紙	5.ネル
宅が重い	6.ゴム手袋	7.ハンソーパー	8.ガーゼ	9.綿球	10.ピンセット
度者料	11.安楽器具	12.バット	13.洗剤液	14.紙オムツ	
	15.おむつかバー	16.円座	17.医療用ソフトシート	18.清拭剤	

上記の品目を の範囲内で給付してください。  
なお、代金の請求は、在宅重度障害者対策事業給付請求書により本欄にて請求願います。

▲一部の市町で実施「治療材料等給付券」一例

**問** 在宅重度障がい者の方に對して、対象品などを限定した上で必要時のみ「治療材料等給付券」を交付している市町村もある。負担軽減や社会参加を可能にするなど、生活の質を向上させる上で給付券を導入していく考えは。

**答** 新たな支援も必要になっている中で、障がい者の方を支援する制度の見直しなどを図りながら、必要なところには必要な支援をしたいと考えている。播磨町としてできる範囲で前向きに検討する。

**問** 自殺や虐待が社会問題になっている中、児童生徒が赤ちゃんと接することで命の重みを、赤ちゃんの保護者は我が子であらためて可愛い、いとおしいと実感することなど赤ちゃん登校日の果たす役割は非常に大きい。充実を図るべきでは。

**答** 中学生を対象に年一回、思春期ふれあい体験学習を実施しているが、子育て支援や命の尊さを学ぶ上で複数回にわたり継続させていくなど、学校のみならず全町的な取り組みもできないか検討する。

**問** 赤ちゃん登校日の充実を拡大に向けて町長検討する

**答** シルバーハンドブックに示している諸事業のほか、文化教養・スポーツ・健康増進施設などの整備を実施している。本年度新たに「救急医療情報キット配布事業」を予算計上している。

**問** 生活に生きがいをもてないでいる高齢者には、地域の見守りが必要であり、権利擁護支援員や成年後見制度などの活用により、安心して地域で生活できる仕組みづくりが不可欠である。

**問** 地域包括支援センターを住民の身近な施設としていくための方策は。

**答** この事業は社会福祉協議会に委託しているが、設置後7年が経過し、徐々に知られてきている。住民との連携を深め、地域の福祉力を高める取り組みが必要である。

**問** 個別支援計画への支援などが主である。自主的活動に協働や支援をする。

**問** 高齢者に生きがいをもった暮らしができる環境の提供をどのように考えているか。

**答** シルバーハンドブックに示している諸事業のほか、文化教養・スポーツ・健康増進施設などの整備を実施している。本年度新たに「救急医療情報キット配布事業」を予算計上している。

**問** 生活に生きがいをもてないでいる高齢者には、地域の見守りが必要であり、権利擁護支援員や成年後見制度などの活用により、安心して地域で生活できる仕組みづくりが不可欠である。

**問** 地域包括支援センターを住民の身近な施設としていくための方策は。

**答** この事業は社会福祉協議会に委託しているが、設置後7年が経過し、徐々に知られてきている。住民との連携を深め、地域の福祉力を高める取り組みが必要である。

**問** 個別支援計画への支援などが主である。自主的活動に協働や支援をする。

**問** 高齢者に生きがいをもった暮らしができる環境の提供をどのように考えているか。

**答** シルバーハンドブックに示している諸事業のほか、文化教養・スポーツ・健康増進施設などの整備を実施している。本年度新たに「救急医療情報キット配布事業」を予算計上している。

**問** 生活に生きがいをもてないでいる高齢者には、地域の見守りが必要であり、権利擁護支援員や成年後見制度などの活用により、安心して地域で生活できる仕組みづくりが不可欠である。

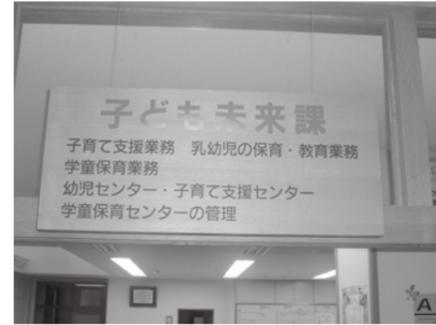
**問** 地域包括支援センターを住民の身近な施設としていくための方策は。

**答** この事業は社会福祉協議会に委託しているが、設置後7年が経過し、徐々に知られてきている。住民との連携を深め、地域の福祉力を高める取り組みが必要である。

## こども総合窓口の新設を

町長 必要と考えている

青雲21  
岡田 千賀子



▲子どものことは「こども総合窓口」に（北海道下川町）

**問** 安心して子どもを育てる環境づくりには、乳幼児期から自立するまでの子どもの成長段階に応じた総合的な支援の窓口や、一貫してかわかることのできる体制づくりが必要である。こども総合窓口「こども未来グループ（仮称）」の新設を。

**答** 次世代育成は地域活性化やまちづくりの基礎となる。何よりも子どもたちの幸せのために優先的に取り組まなければならない課題である。子育て支援を総合的に推進し、子どもに関する

**問** 安心して子どもを育てる環境づくりには、乳幼児期から自立するまでの子どもの成長段階に応じた総合的な支援の窓口や、一貫してかわかることのできる体制づくりが必要である。こども総合窓口「こども未来グループ（仮称）」の新設を。

**答** 次世代育成は地域活性化やまちづくりの基礎となる。何よりも子どもたちの幸せのために優先的に取り組まなければならない課題である。子育て支援を総合的に推進し、子どもに関する

## 高齢化対策の長期ビジョンは

町長 協働や支援をする

新政会  
大辻 裕彦



▲播磨町社会福祉協議会、地域包括支援センター

**問** 高齢化時代を迎え、社会福祉協議会（社協）の活動を、行政と会員である住民との連携を密にするため具体的にどうするか。

**答** 社協と連携し、住民の自主的な活動を支援し、地域の見守り、支え合いの仕組み作りを支援する。

**問** 高齢者の諸問題への対策として、各自治会にどのような支援や連携活動を想定しているか。

**答** 関連する自治会活動は、いきいきサロンやシニアクラブの活動費補助、自主防災組織の要援護者

**問** 高齢化時代を迎え、社会福祉協議会（社協）の活動を、行政と会員である住民との連携を密にするため具体的にどうするか。

**答** 社協と連携し、住民の自主的な活動を支援し、地域の見守り、支え合いの仕組み作りを支援する。

**問** 高齢者の諸問題への対策として、各自治会にどのような支援や連携活動を想定しているか。

**答** 関連する自治会活動は、いきいきサロンやシニアクラブの活動費補助、自主防災組織の要援護者

**問** 個別支援計画への支援などが主である。自主的活動に協働や支援をする。

**問** 高齢者に生きがいをもった暮らしができる環境の提供をどのように考えているか。

**答** シルバーハンドブックに示している諸事業のほか、文化教養・スポーツ・健康増進施設などの整備を実施している。本年度新たに「救急医療情報キット配布事業」を予算計上している。

**問** 生活に生きがいをもてないでいる高齢者には、地域の見守りが必要であり、権利擁護支援員や成年後見制度などの活用により、安心して地域で生活できる仕組みづくりが不可欠である。

**問** 地域包括支援センターを住民の身近な施設としていくための方策は。

**答** この事業は社会福祉協議会に委託しているが、設置後7年が経過し、徐々に知られてきている。住民との連携を深め、地域の福祉力を高める取り組みが必要である。